

熊本地震震災ミュージアムKIOKU

プログラムのポイント

観測史上初となる28時間のうちに2度の震度7の揺れが発生した平成28年(2016年)熊本地震。熊本県内では災害関連死を含めて270名以上の死者、20万棟近い建物の被災、阿蘇大橋をはじめとする交通インフラや水・電気などのライフラインの寸断といった、甚大な被害がありました。熊本県では、被災市町村と連携して、地震の記憶や経験、教訓を確実に後世に伝承し、今後いつどこで起こるか分からない大規模地震災害に備えるため、県内に点在する震災遺構等を活用した回廊形式のフィールドミュージアム「熊本地震 記憶の廻廊」を整備しています。

今回その中核拠点として、南阿蘇村の旧東海大学阿蘇キャンパス内に新たに体験・展示施設が完成しました。展示やシアター、震災遺構、各種プログラムを通して、熊本地震の被災の様子、その発生メカニズム、そして防災について学び、人と自然との共生のあり方について考えていただく施設です。施設のシンボルネーム「KIOKU(きおく)」は一般公募から選ばれ、熊本地震を追体験し、そこから得たものを記憶して、未来へ語り継がれるようにという願いが込められています。また、くまもとアートポリスプロジェクトを通して設計された柔らかな曲線の屋根が特徴的な建物もKIOKUの魅力の一つです。



見学のポイント

POINT

■展示室1 「その時」の記憶をたどる

震災の実情が遺るものや当時の様子を伝える映像を通して、地震の「その時」を振り返ります。



■展示室2 熊本の大地を知る

熊本の大地の動きや特徴を学び、地震との関連性を解き明かすとともに、人と自然が織りなす熊本の風土から私たちと大地との関わりについて考えていきます。



■展示室3 自然とともに生きるためには

熊本地震で被災した方々の言葉や熊本の復旧・復興の歩みを通して、自然とともに生きるために私たちはどうしたらよいか、考えを深めていきます。



■地表地震断層

地面の隆起や亀裂、地面の横ずれを見ることができます。



施設概要

- 施設所在／熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陽5343-1
- 開館時間／9：00～17：00（最終入館16：30） ※見学時間：60～90分
- 休館日／毎週月曜（祝日の場合は翌平日が休館）・年末年始
- 駐車場／約100台（大型バス含む）
- 観覧料／大人500円、県外中高生400円、県外小学生300円 ※県内小中高生は無料



【問い合わせ先】

熊本地震震災ミュージアムKIOKU <https://kumamotojishin-museum.com/kioku/>
TEL 0967-65-8065 MAIL kioku@minamiaso.info